

# 令和5年度 第3四半期（2023年10月～12月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

## 1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=24 事業所(回答率 96%)

## 2. 調査対象期間

今期=2023年10月～12月

- ・前年同月比=前年同期(2022年10月～12月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2023年7月～9月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2024年1月～3月)の見通し

## 3. 調査期間 2023年12月13日～12月22日

## 4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

## 5. 調査項目ごとの状況

### (1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲20.7 で、業種別にみると「小売業」が 0.5 で最も高く、「建設業」が 0.2 で続いている。

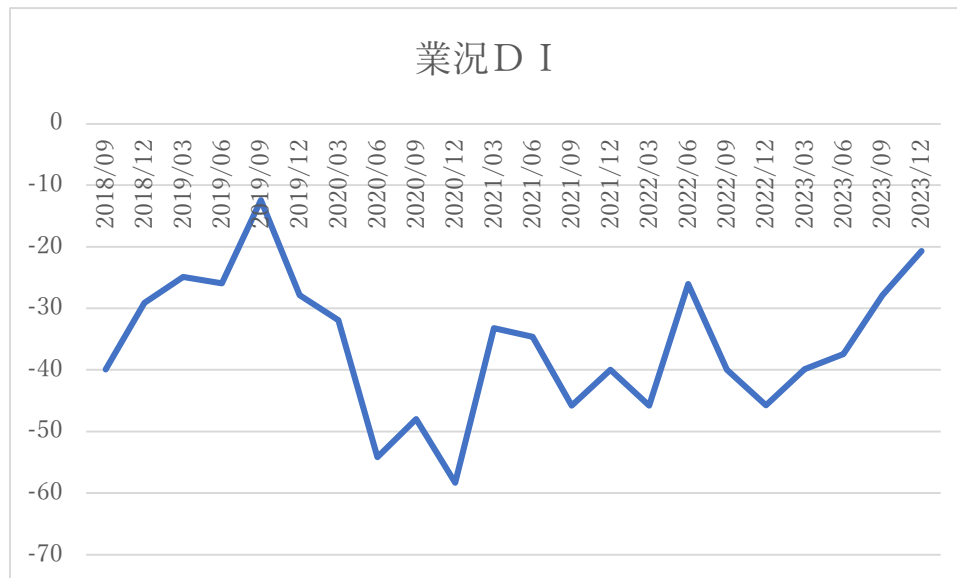
先行きは 0.1p 悪化の▲20.8 で、業種別では「卸売業」で改善、「建設業」「小売業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2023年 7~9月期 (前回調査)		2023年 10~12月期 (今回調査)		2024年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲27.9	↗	▲20.7	↗	▲20.8	↘
建設業	▲20.0	↗	0.2	↗	0.0	↘
製造業	▲39.8	↘	▲20.0	↗	▲20.0	→
卸売業	▲19.8	↗	▲40.0	↘	▲20.0	↗
小売業	▲19.8	→	0.5	↗	▲24.8	↘
サービス業	▲40.0	↗	▲40.0	→	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲9.0	↗	▲8.4	↗	▲14.3	↘
(参考)東北全産業	▲13.0	↗	▲14.0	↘	▲18.1	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)



## (2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲37.3 で、業種別にみると「小売業」が 0.5 で最も高く、「建設業」が▲19.6 で続いている。

先行きは8.2p改善の▲29.1 で、「製造業」「卸売業」で改善、「建設業」「小売業」で悪化となっている。

図表2 売上高DI

	2023年 7~9月期 (前回調査)		2023年 10~12月期 (今回調査)		2024年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲47.8	↘	▲37.3	↗	▲29.1	↗
建設業	▲39.8	↗	▲19.6	↗	▲40.0	↘
製造業	▲59.8	↘	▲40.0	↗	▲19.8	↗
卸売業	▲59.8	→	▲60.0	↘	▲20.0	↗
小売業	▲39.8	↗	0.5	↗	0.3	↘
サービス業	▲40.0	↗	▲60.0	↘	▲60.0	→
(参考)全国全産業	4.9	↗	3.3	↗	▲8.2	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

## (3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲24.9 で、業種別にみると「小売業」が 0.3 で最も高く、「建設業」が 0.2 で続いている。

先行きは0.1p悪化の▲25.0で、「卸売業」で改善、「建設業」「小売業」で悪化となっている。

図表3 採算DI

	2023年 7~9月期 (前回調査)		2023年 10~12月期 (今回調査)		2024年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲37.4	↗	▲24.9	↗	▲25.0	↘
建設業	▲20.0	↗	0.2	↗	▲20.0	↘
製造業	0.4	↗	▲20.0	↘	▲20.0	→
卸売業	▲60.0	→	▲60.0	→	▲20.0	↗
小売業	▲49.8	↘	0.3	↗	▲25.0	↘
サービス業	▲60.0	↘	▲40.0	↗	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲14.1	↗	▲10.6	↗	▲16.3	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

#### (4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲25.0で、業種別にみると「建設業」が0.2で最も高く、「小売業」が0.0で続いている。

先行きは4.2p改善の▲20.0で、「製造業」で改善、「建設業」で悪化となっている。

図表4 資金繰りDI

	2023年 7~9月期 (前回調査)		2023年 10~12月期 (今回調査)		2024年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲20.0	↘	▲25.0	↘	▲20.8	↗
建設業	0.0	→	0.2	↗	0.0	↘
製造業	▲40.0	↘	▲40.0	→	▲20.0	↗
卸売業	0.0	↗	▲40.0	↘	▲40.0	→
小売業	▲20.0	↗	0.0	↗	0.0	→
サービス業	▲40.0	↘	▲40.0	→	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲11.8	↗	▲9.3	↗	▲11.7	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

#### (5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲66.7で、業種別にみると「小売業」が▲50.0で最も高く、「建設業」「サービス業」が▲60.0で続いている。

先行きは12.5p改善の▲54.2で、「製造業」「卸売業」で改善、その他の業種で横ばいとなっている。

図表5 仕入単価DI

	2023年 7~9月期 (前回調査)		2023年 10~12月期 (今回調査)		2024年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲68.0	↗	▲66.7	↗	▲54.2	↗
建設業	▲100.0	↘	▲60.0	↗	▲60.0	→
製造業	▲80.0	→	▲80.0	→	▲40.0	↗
卸売業	▲40.0	↗	▲80.0	↘	▲60.0	↗
小売業	▲60.0	↗	▲50.0	↗	▲50.0	→
サービス業	▲60.0	→	▲60.0	→	▲60.0	→
(参考)全国全産業	▲69.6	↘	▲65.0	↗	▲53.6	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

(6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は▲3.8で、「サービス業」で過剰、その他の業種でやや不足となっている。

先行きは0.1p悪化の▲3.9で、全ての業種でほぼ横ばいとなっている。

図表6 従業員DI

	2023年 7~9月期 (前回調査)		2023年 10~12月期 (今回調査)		2024年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	0.2	→	▲3.8	↘	▲3.9	↘
建設業	0.4	→	0.4	→	0.2	↘
製造業	0.0	↘	0.0	→	0.0	→
卸売業	0.2	→	0.6	↗	0.4	↘
小売業	0.0	→	0.3	↗	0.3	→
サービス業	0.4	↗	▲19.6	↘	▲19.6	→
(参考)全国全産業	22.8	↗	23.7	↗	23.6	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
10~12月新車在庫予定通り。1~3月未定。	小売業
集客に力を入れて数カ月たつが、なかなか成果が出せず苦労している。	サービス業